



なかしん

# 景況レポート



2014年 秋  
中兵庫信用金庫

No.119

経営企画部

# 第 119 回 なかしん中小企業景気動向調査

## (平成 26 年 9 月)

当金庫では、四半期ごとに景気の状態を知る一助として、お取引先のご協力により景気動向調査を実施しております。以下は、平成 26 年 9 月を調査時点とする平成 26 年度第 2 四半期(平成 26 年 7 月～9 月)実績(9 月は予想)、及び平成 26 年度第 3 四半期(平成 26 年 10 月～12 月)見通しについての調査結果です。

経営者の方々をはじめ、皆さまのご参考になれば幸いです。

調査時点	平成 26 年 9 月
調査対象	中兵庫信用金庫お取引先 [別表 1]
調査方法	聞き取り法
依頼先数	427 先
有効回答数	421 先 (回答率 98.6%)
その他	この調査における景気判断の基準として、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index, 略してDI、拡散指数という)による方法を採用しています。 これは、生産・販売・在庫・収益等について前期に比較して、(A)増加(あるいは「上昇」)(B)変わらず、(C)減少(あるいは「下降」)のいずれかに回答していただき、この(A)(B)(C)の回答割合(%)のうち(A)から(C)を差し引いた値(DI)を時系列的に観察することによって景況をみる方法です。

[別表 1] 業種別構成

業種	依頼数	回答数
製造業	107	105
卸売業	35	35
小売業	107	104
サービス業	68	67
建設業	77	77
不動産業	33	33
合計	427	421

[調査地域]

丹波市・篠山市・三田市  
西脇市・多可郡・加東市  
三木市・小野市  
神戸市北区・西宮市北部  
福知山市

連絡先 〒669-1321 三田市けやき台 1-4-3 ☎ 079-569-7153

中兵庫信用金庫 経営企画部 広報課

# I. 今期景況の実績について

## 1. 総合的景況判断

### ○平成 26 年 9 月期業況判断指数

項目 分類	① H26 年 6 月期	② H26 年 9 月期	②-① 増 減	H26 年 12 月期 予 想
製 造 業	△5.8	△28.5	△22.7	△8.6
非製造業	△27.4	△15.8	11.6	△9.9
全 業 種	△22.0	△19.0	3.0	△9.5

### ○前回調査比

今期（平成 26 年 7～9 月期）の景況をみると、業況DIは製造業で 22.7 ㊦減少、非製造業で 11.6 ㊦増加、全体では 3.0 ㊦増加し△19.0 とやや改善した。

業種別では、建設業で 16.9 ㊦、サービス業で 16.0 ㊦、小売業で 9.2 ㊦、卸売業で 5.7 ㊦、不動産業で 3.1 ㊦改善したが、製造業のみ 22.7 ㊦悪化した。

次期予想は、製造業が 19.9 ㊦、建設業で 11.8 ㊦、不動産業が 6.1 ㊦、サービス業は 6.0 ㊦、小売業が 2.9 ㊦、卸売業が 2.8 ㊦全業種で改善する予想。

全体では 9.5 ㊦増加し△9.5 と改善の見通し。

(9 ページ参照)

### ○前年同期比

前年同期比では全体で 3.8 ㊦減少した。

業種別でみると、サービス業で 12.9 ㊦、建設業が 8.0 ㊦増加したが、製造業で 24.7 ㊦、不動産業が 9.1 ㊦、卸売業で 2.2 ㊦、小売業が 1.3 ㊦減少した。

(9 ページ参照)

## 業種別業況判断

### ① 製造業

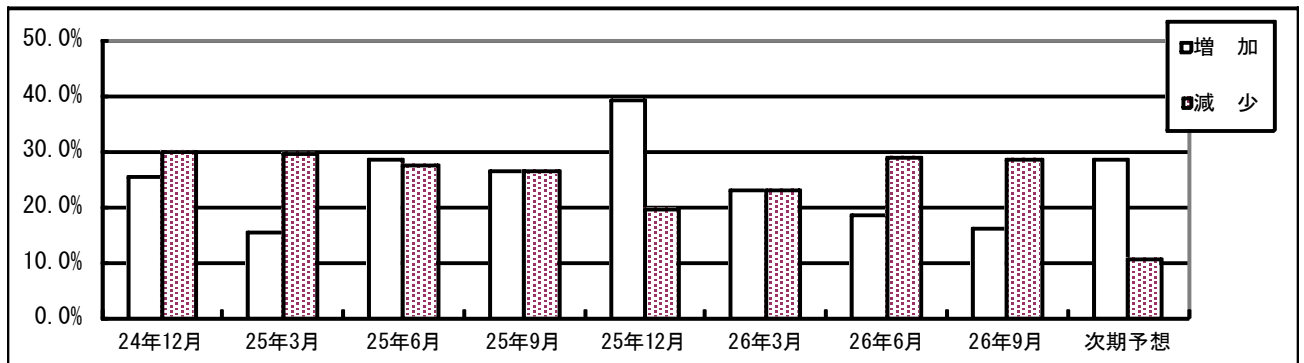
業況D Iは前回調査より22.7ポイント減少し△28.5、生産販売D Iは1.9ポイント減少し△12.4、収益D Iも2.8ポイント減少し△18.1と悪化した。

次期予想では、業況D Iは19.9ポイント増加し△8.6、生産販売D Iも30.5ポイント増加し18.1、収益D Iも22.9ポイント増加し4.8と改善の見通し。

(9・10・11・18 ページ参照)

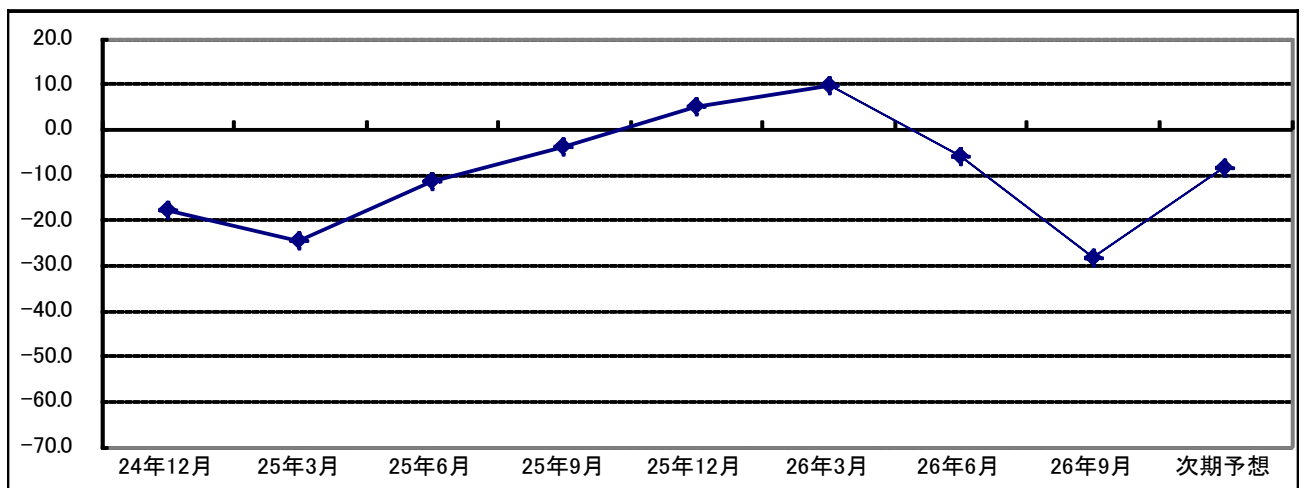
#### 売上額増減企業数の推移

	24年12月	25年3月	25年6月	25年9月	25年12月	26年3月	26年6月	26年9月	次期予想
増加	25.2%	15.2%	28.3%	26.4%	39.2%	23.1%	18.3%	16.2%	28.6%
減少	29.9%	29.5%	27.4%	26.4%	19.6%	23.1%	28.8%	28.6%	10.5%
D I	△ 4.7	△ 14.3	0.9	0.0	19.6	0.0	△ 10.5	△ 12.4	18.1



#### 業況DIの推移

年月	24年12月	25年3月	25年6月	25年9月	25年12月	26年3月	26年6月	26年9月	次期予想
業況DI	△ 18.0	△ 24.7	△ 11.6	△ 3.8	4.9	9.6	△ 5.8	△ 28.5	△ 8.6



## ② 卸売業

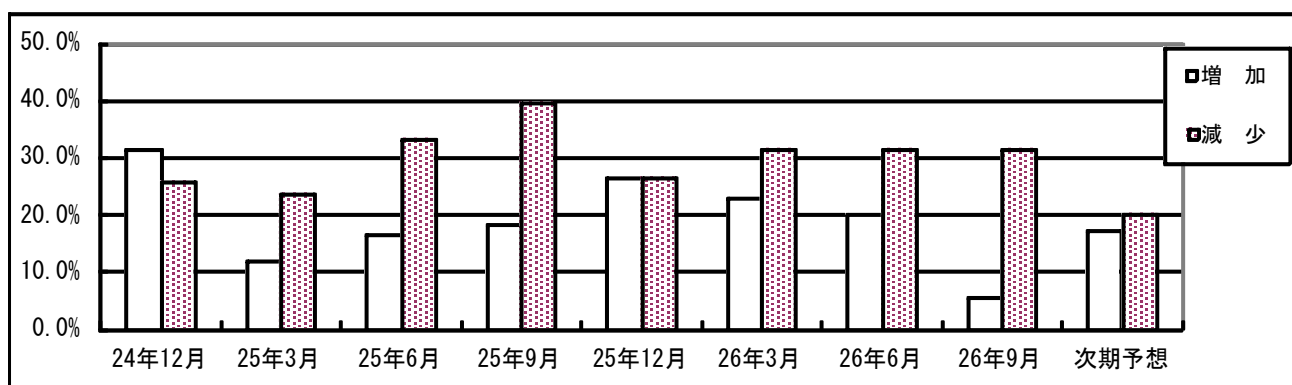
業況D Iは前回調査より5.7ポイント増加し△28.5と改善したが、生産販売D Iは14.3ポイント減少し△25.7、収益D Iも11.4ポイント減少し△34.2と悪化した。

次期予想については、業況D Iは2.8ポイント増加し△25.7、生産販売は22.8ポイント増加し△2.9、収益も25.6ポイント増加し△8.6といずれも改善する見通し。

(9・10・11・18 ページ参照)

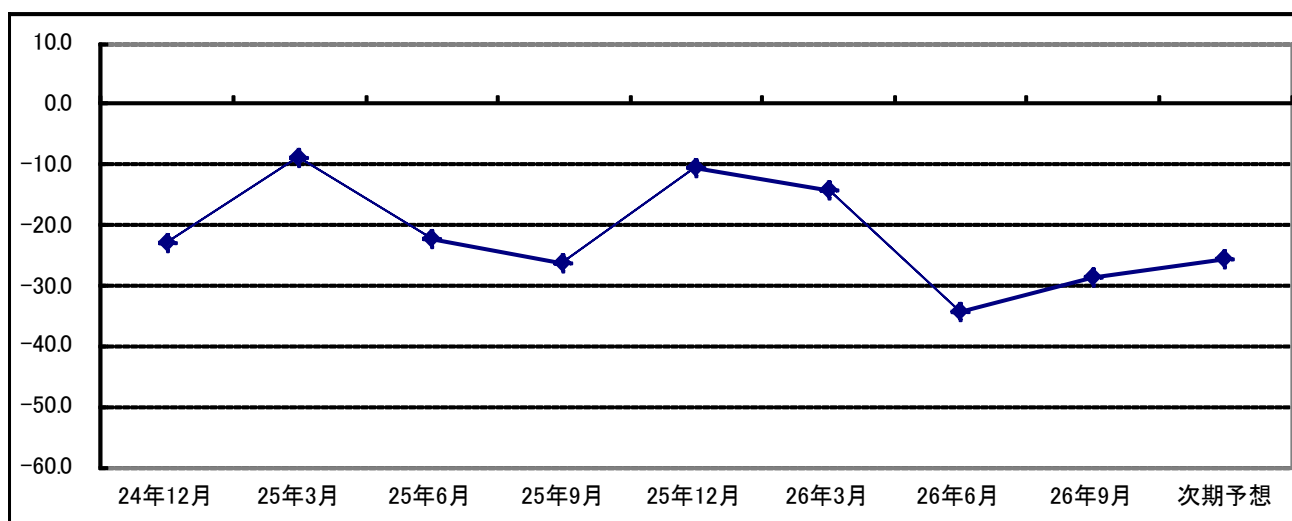
### 売上額増減企業数の推移

	24年12月	25年3月	25年6月	25年9月	25年12月	26年3月	26年6月	26年9月	次期予想
増加	31.4%	11.8%	16.7%	18.4%	26.3%	22.9%	20.0%	5.7%	17.1%
減少	25.7%	23.5%	33.3%	39.5%	26.3%	31.4%	31.4%	31.4%	20.0%
D I	5.7	△ 11.7	△ 16.6	△ 21.1	0.0	△ 8.5	△ 11.4	△ 25.7	△ 2.9



### 業況DIの推移

年月	24年12月	25年3月	25年6月	25年9月	25年12月	26年3月	26年6月	26年9月	次期予想
業況DI	△ 22.9	△ 8.8	△ 22.2	△ 26.3	△ 10.5	△ 14.3	△ 34.2	△ 28.5	△ 25.7



### ③ 小売業

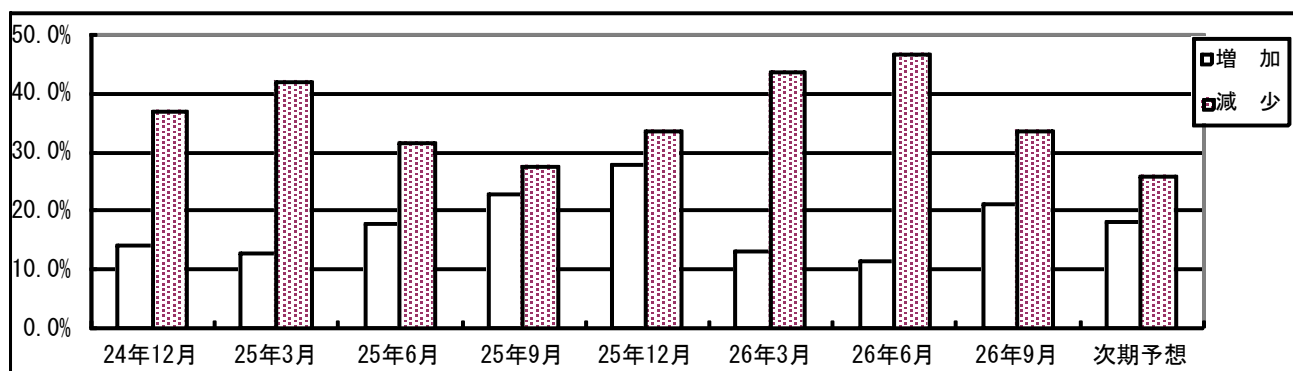
業況D Iは前回調査より9.2 ㊦増加し△27.0、生産販売D Iも22.8 ㊦増加し△12.5、収益D Iも18.9 ㊦増加し△17.3といずれも改善した。

次期予想は、業況D Iは2.9 ㊦増加し△24.1、生産販売D Iも4.8 ㊦増加し△7.7、収益D Iは8.6 ㊦増加し△8.7といずれも改善の見通し。

(9・10・11・18. ページ参照)

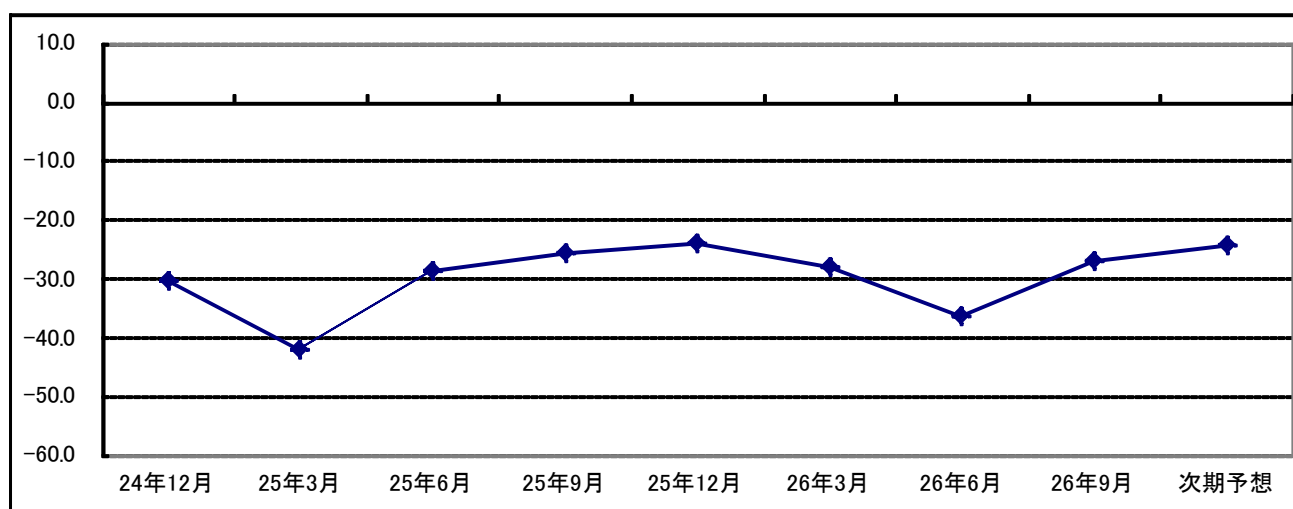
#### 売上額増減企業数の推移

	24年12月	25年3月	25年6月	25年9月	25年12月	26年3月	26年6月	26年9月	次期予想
増 加	14.0%	12.7%	17.8%	22.9%	27.9%	13.1%	11.4%	21.2%	18.3%
減 少	37.0%	42.2%	31.7%	27.6%	33.7%	43.9%	46.7%	33.7%	26.0%
D I	△ 23.0	△ 29.5	△ 13.9	△ 4.7	△ 5.8	△ 30.8	△ 35.3	△ 12.5	△ 7.7



#### 業況DIの推移

年 月	24年12月	25年3月	25年6月	25年9月	25年12月	26年3月	26年6月	26年9月	次期予想
業況DI	△ 30.3	△ 42.1	△ 28.7	△ 25.7	△ 24.0	△ 28.0	△ 36.2	△ 27.0	△ 24.1



④ サービス業

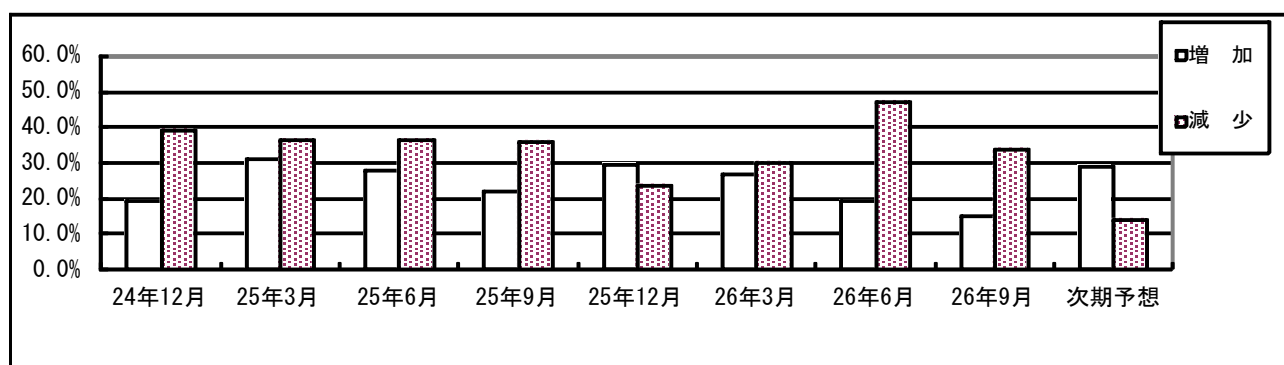
業況D Iは前回調査より16.0 ㊦増加し△9.0、生産販売D Iは9.9 ㊦増加し△18.1、収益D Iも0.7 ㊦増加し△24.3といずれも改善した。

次期予想では、業況D Iは6.0 ㊦増加し△3.0、生産販売D Iも33.5 ㊦増加し15.4、収益D Iも35.1 ㊦増加し10.8といずれも改善の見通し。

(9・10・11・18 ページ参照)

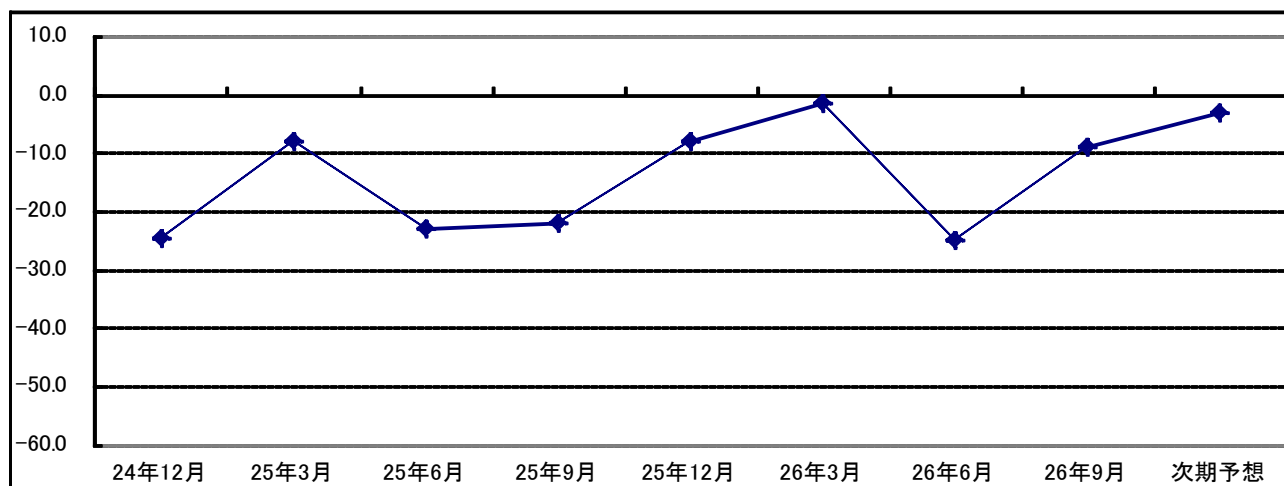
売上額増減企業数の推移

	24年12月	25年3月	25年6月	25年9月	25年12月	26年3月	26年6月	26年9月	次期予想
増 加	19.4%	31.1%	27.9%	21.9%	29.7%	26.9%	19.1%	15.2%	29.2%
減 少	38.7%	36.1%	36.1%	35.9%	23.4%	29.9%	47.1%	33.3%	13.8%
D I	△ 19.3	△ 5.0	△ 8.2	△ 14.0	6.3	△ 3.0	△ 28.0	△ 18.1	15.4



業況DIの推移

年月	24年12月	25年3月	25年6月	25年9月	25年12月	26年3月	26年6月	26年9月	次期予想
業況DI	△ 24.6	△ 8.1	△ 23.0	△ 21.9	△ 7.8	△ 1.5	△ 25.0	△ 9.0	△ 3.0



⑤ 建設業

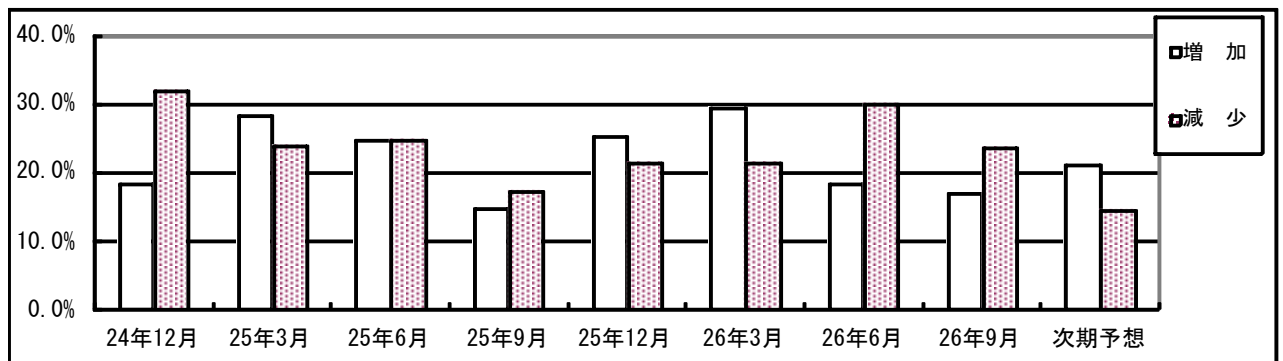
業況D Iは前回調査より 16.9 ㊦増加し△2.6、生産販売D Iも 5.2 ㊦増加し△6.5、収益D Iも 15.6 ㊦増加し△9.1といずれも改善した。

次期予想は、業況D Iは 11.8 ㊦増加し 9.2、生産販売D Iも 13.1 ㊦増加し 6.6、収益D Iも 9.1 ㊦増加し 0.0といずれも改善する見通し。

(9・10・11・18 ページ参照)

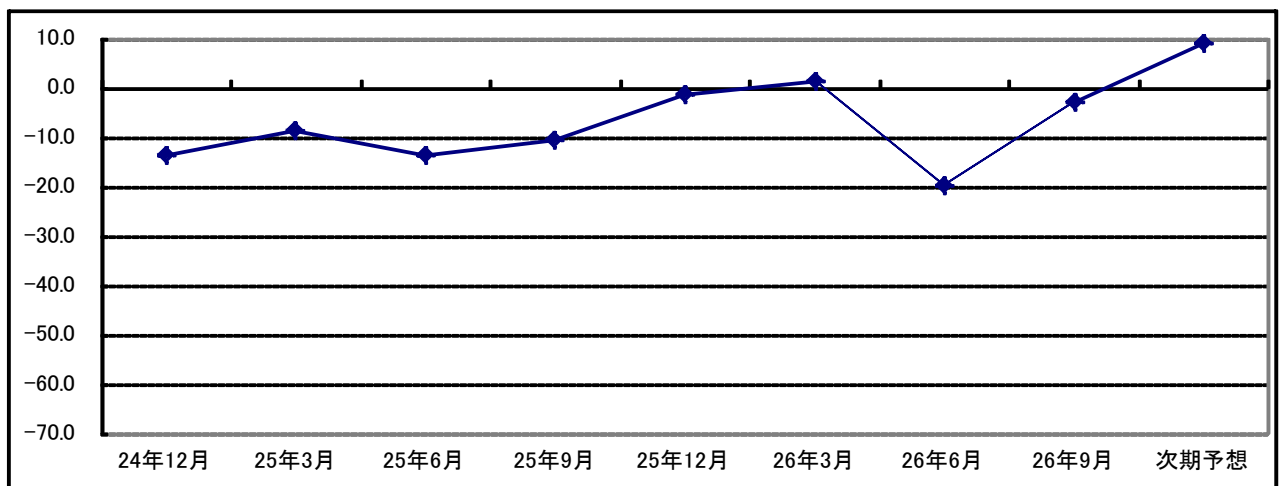
売上額増減企業数の推移

	24年12月	25年3月	25年6月	25年9月	25年12月	26年3月	26年6月	26年9月	次期予想
増加	18.2%	28.2%	24.7%	14.7%	25.3%	29.3%	18.2%	16.9%	21.1%
減少	31.8%	23.9%	24.7%	17.3%	21.3%	21.3%	29.9%	23.4%	14.5%
D I	△ 13.6	4.3	0.0	△ 2.6	4.0	8.0	△ 11.7	△ 6.5	6.6



業況D Iの推移

年月	24年12月	25年3月	25年6月	25年9月	25年12月	26年3月	26年6月	26年9月	次期予想
業況D I	△ 13.7	△ 8.6	△ 13.7	△ 10.6	△ 1.3	1.3	△ 19.5	△ 2.6	9.2





⑥ 不動産業

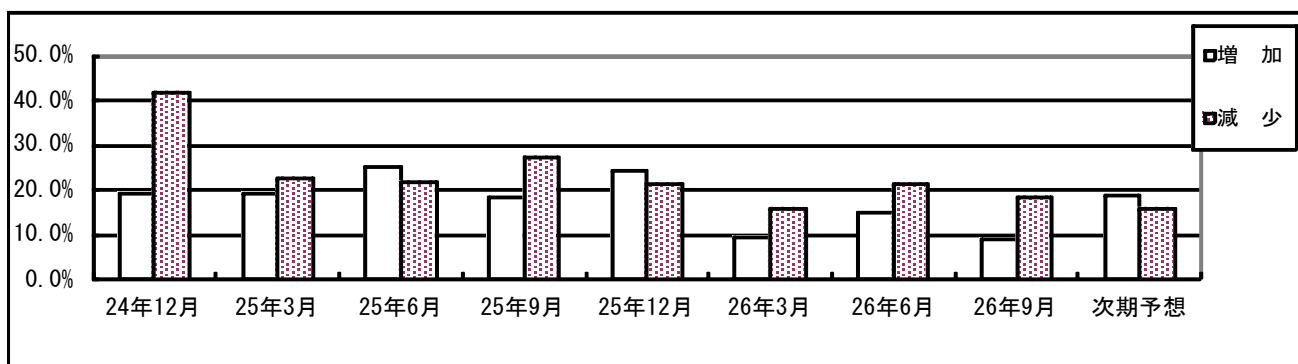
業況D Iは前回調査より 3.1 ㊦増加し△12.1 と改善したが、生産販売D Iは 3.1 ㊦減少し△9.1、収益D Iも 3.1 ㊦減少し△6.1 と悪化した。

次期予想では、業況D Iは 6.1 ㊦増加し△6.0、生産販売D Iは 12.3 ㊦増加し 3.2、収益D Iも 6.1 ㊦増加し 0.0 といずれも改善する見通し。

(9・10・11・18 ページ参照)

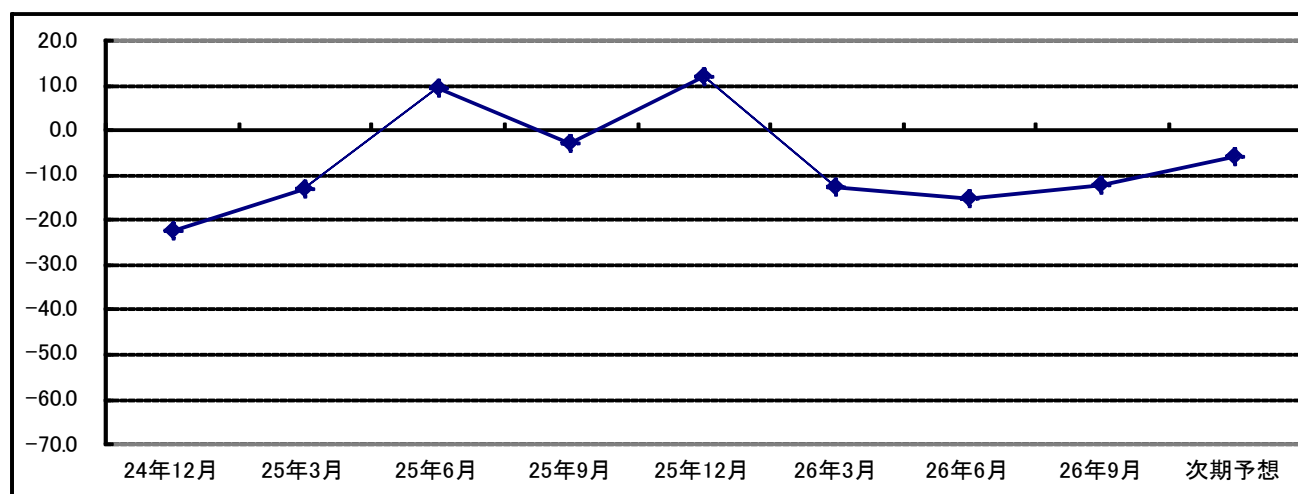
売上額増減企業数の推移

	24年12月	25年3月	25年6月	25年9月	25年12月	26年3月	26年6月	26年9月	次期予想
増加	19.4%	19.4%	25.0%	18.2%	24.2%	9.4%	15.2%	9.1%	18.8%
減少	41.9%	22.6%	21.9%	27.3%	21.2%	15.6%	21.2%	18.2%	15.6%
D I	△ 22.5	△ 3.2	3.1	△ 9.1	3.0	△ 6.2	△ 6.0	△ 9.1	3.2



業況D Iの推移

年月	24年12月	25年3月	25年6月	25年9月	25年12月	26年3月	26年6月	26年9月	次期予想
業況D I	△ 22.5	△ 12.9	9.4	△ 3.0	12.1	△ 12.5	△ 15.2	△ 12.1	△ 6.0

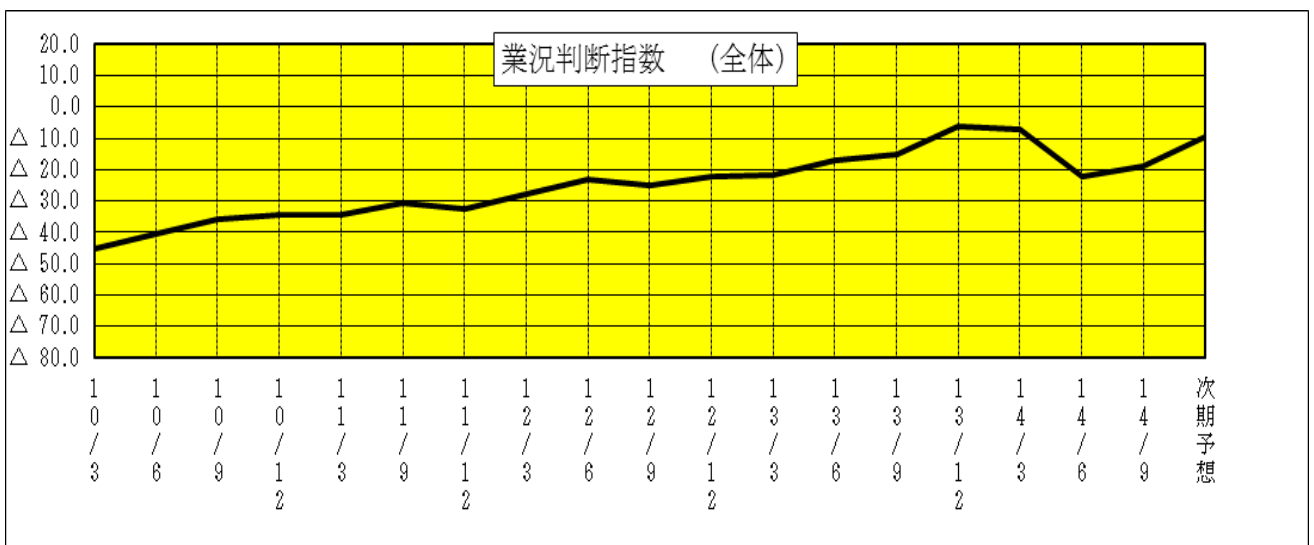


## 業 況 の 推 移

調査時点 \ 変動	良 い A	普 通 B	悪 い C	D I (A-C)
H25年 7～9月	15.2	54.4	30.4	△15.2
H25年 10～12月	22.4	49.0	28.6	△6.2
H26年 1～3月	21.4	50.3	28.3	△6.9
H26年 4～6月	10.9	56.2	32.9	△22.0
H26年 7～9月	11.6	57.8	30.6	△19.0
見通し 10～12月	16.0	58.5	25.5	△9.5

## 業 種 別 業 況 (平成26年7月～9月)

業種 \ 変動	良 い A	普 通 B	悪 い C	D I (A-C)	前回調査 D I	前年同期 D I	次回予想 D I
製 造 業	6.7	58.1	35.2	△28.5	△5.8	△3.8	△8.6
非製造業	13.3	57.6	29.1	△15.8	△27.4	△19.0	△9.9
(卸売業)	2.9	65.7	31.4	△28.5	△34.2	△26.3	△25.7
(小売業)	11.5	50.0	38.5	△27.0	△36.2	△25.7	△24.1
(サービス業)	16.4	58.2	25.4	△9.0	△25.0	△21.9	△3.0
(建設業)	18.2	61.0	20.8	△2.6	△19.5	△10.6	9.2
(不動産業)	12.1	63.7	24.2	△12.1	△15.2	△3.0	△6.0
全 体	11.6	57.8	30.6	△19.0	△22.0	△15.2	△9.5



## 2. 生産・販売状況

生産・販売状況は前回に比べ「増加した」とする企業は 0.6 ㊦減少、「減少した」とする企業は 7.0 ㊦減少した。全体でD Iは 6.4 ㊦増加し△13.0 となった。

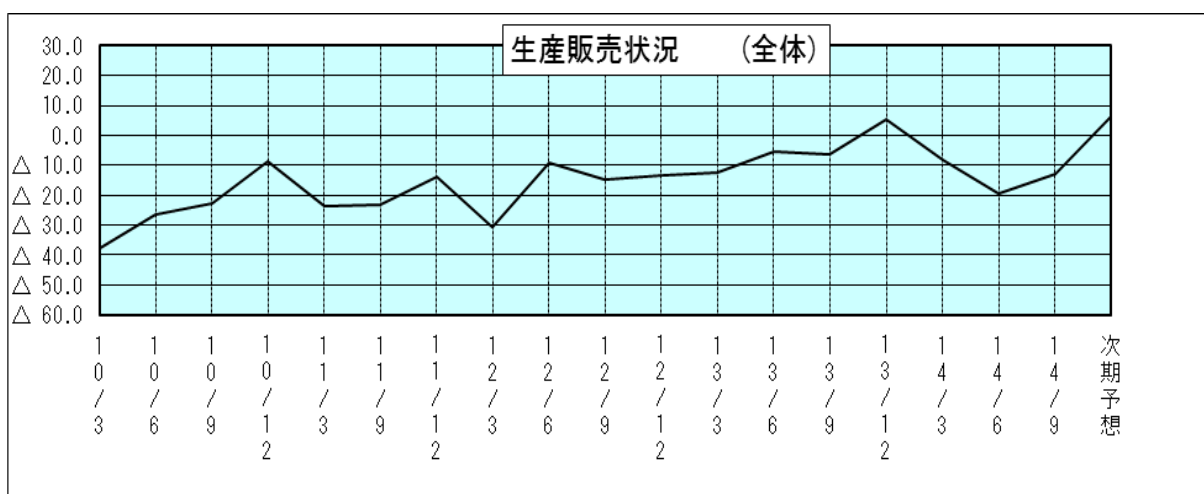
次回予想D Iは、全体で 19.2 ㊦増加し 6.2 と改善する見通し。

### 生産・販売状況の推移

調査時点	変動	増加	変わらず	減少	D I
		A	B	C	(A-C)
平成25年	7～9月	21.4	50.8	27.8	△ 6.4
平成25年	10～12月	30.0	45.2	24.8	5.2
平成26年	1～3月	21.2	49.5	29.3	△ 8.1
平成26年	4～6月	16.6	47.4	36.0	△ 19.4
平成26年	7～9月	16.0	55.0	29.0	△ 13.0
見通し	10～12月	23.0	60.2	16.8	6.2

### 業種別生産・販売状況(平成26年7月～9月)

業種	変動	増加	変わらず	減少	D I	前回調査	次回予想
		A	B	C	(A-C)	D I	D I
製造業		16.2	55.2	28.6	△ 12.4	△ 10.5	18.1
卸売業		5.7	62.9	31.4	△ 25.7	△ 11.4	△ 2.9
小売業		21.2	45.1	33.7	△ 12.5	△ 35.3	△ 7.7
サービス業		15.2	51.5	33.3	△ 18.1	△ 28.0	15.4
建設業		16.9	59.7	23.4	△ 6.5	△ 11.7	6.6
不動産業		9.1	72.7	18.2	△ 9.1	△ 6.0	3.2
全体		16.0	55.0	29.0	△ 13.0	△ 19.4	6.2



### 3. 収益状況

前回に比べ、収益が「増加した」とする企業が 0.5 ㊦増加、「減少した」とする企業は 5.3 ㊦減少し、全体でD Iは 5.8 ㊦増加し△17.7となった。

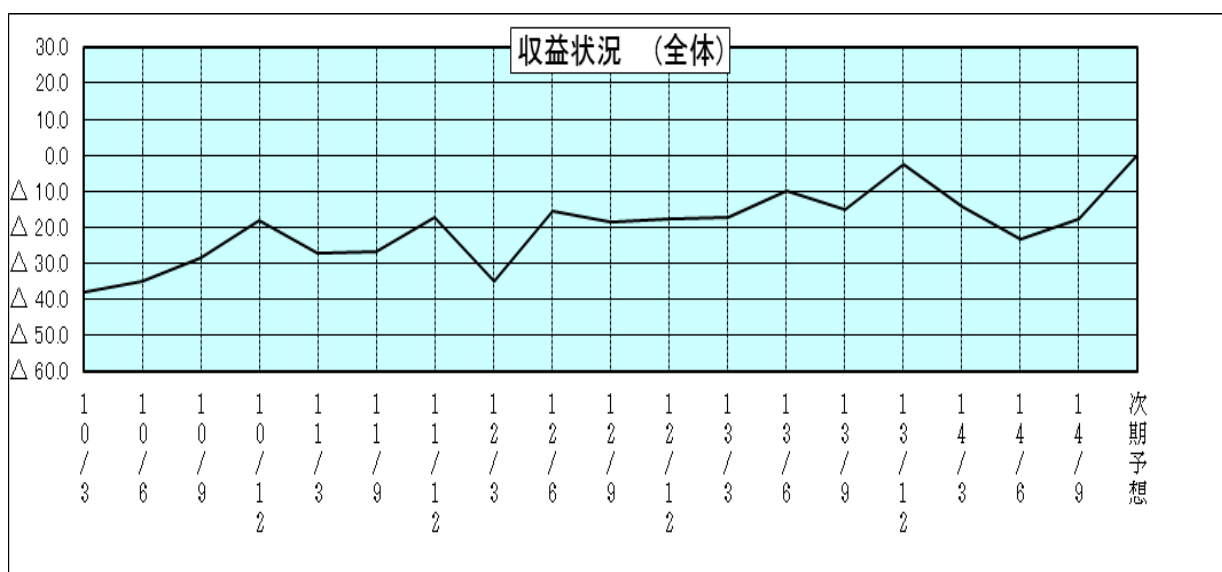
次回予想D Iは、17.7 ㊦改善して 0.0 となる見通し。

#### 収益状況の推移

調査時点	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)
平成25年 7～9月		16.2	52.4	31.4	△ 15.2
平成25年 10～12月		23.8	50.0	26.2	△ 2.4
平成26年 1～3月		16.4	53.1	30.5	△ 14.1
平成26年 4～6月		12.8	50.9	36.3	△ 23.5
平成26年 7～9月		13.3	55.7	31.0	△ 17.7
見通し 10～12月		18.9	62.2	18.9	0.0

#### 業種収益状況(平成26年7月～9月)

業 種	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		13.3	55.3	31.4	△ 18.1	△ 15.3	4.8
卸 売 業		2.9	60.0	37.1	△ 34.2	△ 22.8	△ 8.6
小 売 業		17.3	48.1	34.6	△ 17.3	△ 36.2	△ 8.7
サービス業		12.1	51.5	36.4	△ 24.3	△ 25.0	10.8
建 設 業		14.3	62.3	23.4	△ 9.1	△ 24.7	0.0
不 動 産 業		12.1	69.7	18.2	△ 6.1	△ 3.0	0.0
全 体		13.3	55.7	31.0	△ 17.7	△ 23.5	0.0



#### 4. 在庫・販売価格・資金繰り状況

##### ○在庫

前回調査に比べ、在庫状況は「過剰」とする企業が1.5 ㊦減少、「不足」とする企業は4.9 ㊦減少して、D Iは3.4 ㊦増加し4.8となった。

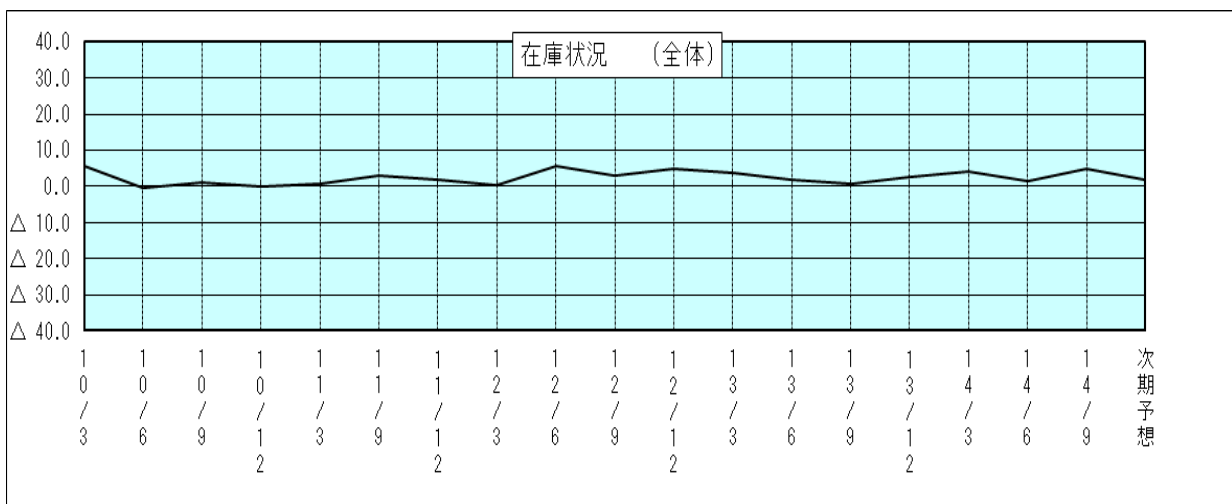
次回予想D Iは、2.8 ㊦減少し2.0となる見通し。

##### 在庫状況の推移

調査時点	変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)
平成25年	7～9月	8.1	84.6	7.3	0.8
平成25年	10～12月	11.6	79.6	8.8	2.8
平成26年	1～3月	13.0	78.0	9.0	4.0
平成26年	4～6月	10.3	80.8	8.9	1.4
平成26年	7～9月	8.8	87.2	4.0	4.8
見通し	10～12月	6.9	88.2	4.9	2.0

##### 業種別在庫状況（平成26年7月～9月）

業種	変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		11.5	84.7	3.8	7.7	1.9	3.8
卸売業		11.4	80.0	8.6	2.8	5.7	5.7
小売業		11.5	84.7	3.8	7.7	3.8	△ 0.9
建設業		1.3	96.1	2.6	△ 1.3	△ 1.3	0.0
不動産業		6.5	90.3	3.2	3.3	△ 6.7	6.7
全体		8.8	87.2	4.0	4.8	1.4	2.0



○ 販売価格

販売価格は「上昇した」とする企業は 11.2 ㊦減少、「下降した」とする企業は 0.5 ㊦増加、D I は 11.7 ㊦減少し△1.0 と下降した。

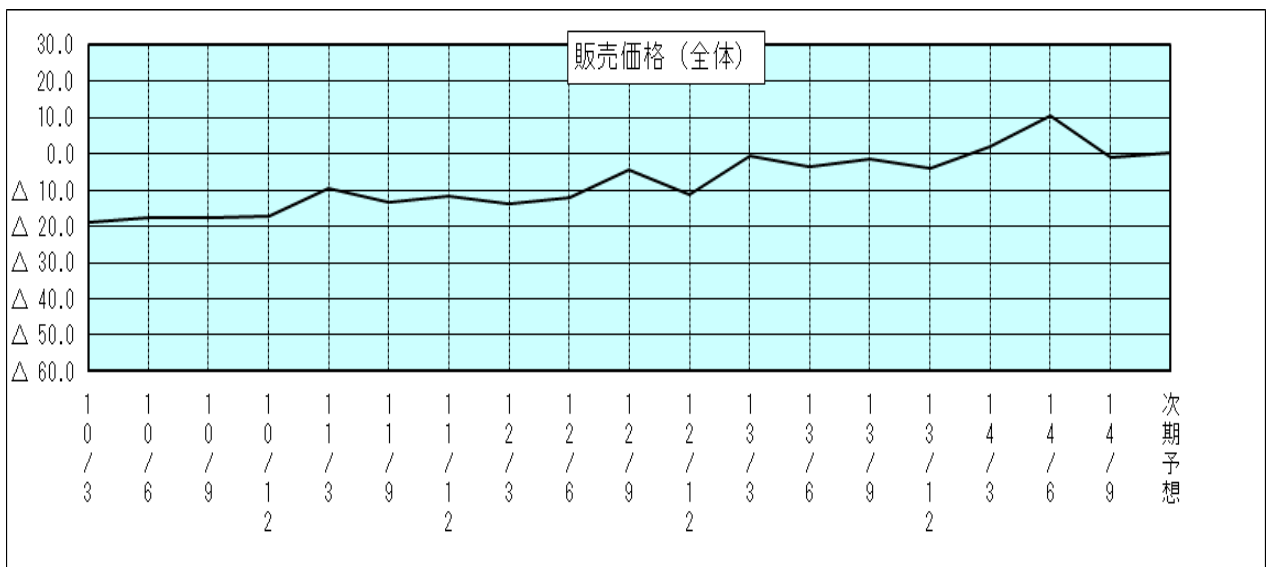
次回予想D I は、1.5 ㊦増加し 0.5 となり上昇する見通し。

販売価格の推移

変動		上昇 A	変わらず B	下降 C	D I (A-C)
調査時点					
平成25年	7～9月	8.3	82.0	9.7	△ 1.4
平成25年	10～12月	8.7	78.8	12.5	△ 3.8
平成26年	1～3月	9.8	82.3	7.9	1.9
平成26年	4～6月	20.0	70.7	9.3	10.7
平成26年	7～9月	8.8	81.4	9.8	△ 1.0
見通し	10～12月	8.0	84.5	7.5	0.5

業種別販売価格状況（平成26年7月～9月）

業種	変動	上昇 A	変わらず B	下降 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		4.8	86.6	8.6	△ 3.8	14.4	△ 2.8
卸売業		14.3	71.4	14.3	0.0	17.1	△ 2.8
小売業		14.4	79.8	5.8	8.6	17.1	2.9
サービス業		4.6	81.6	13.8	△ 9.2	8.9	1.6
建設業		11.7	80.5	7.8	3.9	△ 1.4	8.0
不動産業		0.0	81.8	18.2	△ 18.2	3.0	△ 12.5
全体		8.8	81.4	9.8	△ 1.0	10.7	0.5



○ 資金繰り

前回に比べ「楽」とした企業が 2.1 ㊦減少、「苦しい」とした企業が 2.7 ㊦減少、D I は 0.6 ㊦増加し△12.2 となった。

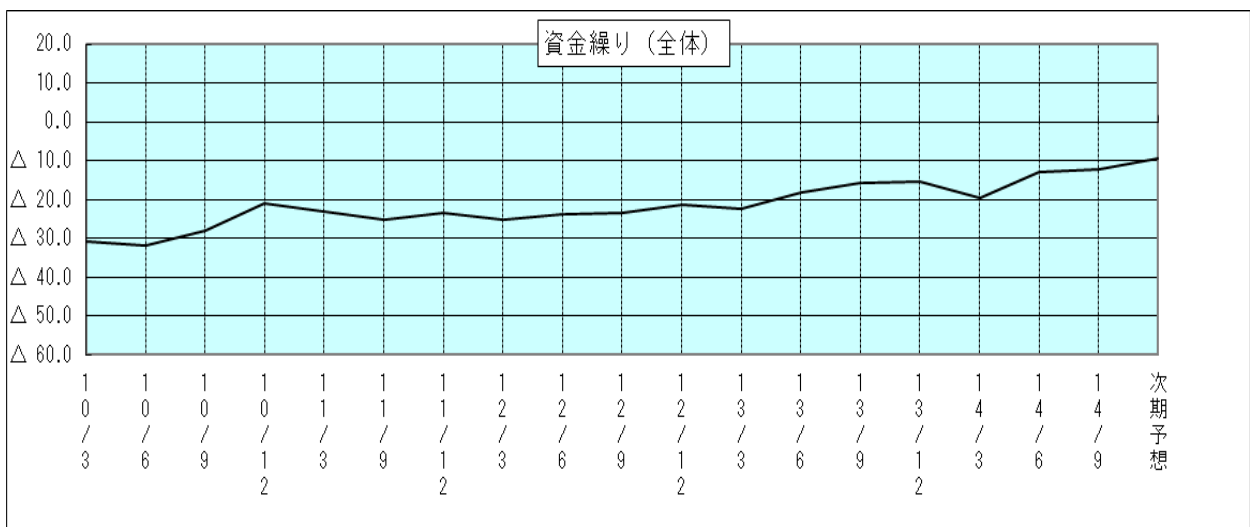
次回予想D I は 2.9 ㊦増加し△9.3 と改善の見通し。

資金繰り状況の推移

調査時点	変動	楽 A	変わらず B	苦しい C	D I (A-C)
平成25年	7～9月	4.8	74.5	20.7	△ 15.9
平成25年	10～12月	5.8	73.0	21.2	△ 15.4
平成26年	1～3月	4.5	71.5	24.0	△ 19.5
平成26年	4～6月	7.8	71.6	20.6	△ 12.8
平成26年	7～9月	5.7	76.4	17.9	△ 12.2
見通し	10～12月	6.5	77.7	15.8	△ 9.3

業種別資金繰り状況（平成26年7月～9月）

業種	変動	楽 A	変わらず B	苦しい C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		5.7	75.3	19.0	△ 13.3	△ 3.9	△ 7.6
卸売業		5.7	80.0	14.3	△ 8.6	△ 8.6	△ 2.8
小売業		3.8	70.2	26.0	△ 22.2	△ 22.8	△ 17.4
サービス業		7.5	77.6	14.9	△ 7.4	△ 11.8	△ 6.1
建設業		9.1	80.5	10.4	△ 1.3	△ 14.3	△ 3.9
不動産業		0.0	84.4	15.6	△ 15.6	△ 12.2	△ 16.1
全体		5.7	76.4	17.9	△ 12.2	△ 12.8	△ 9.3



## 5. 雇用面の動き

### ○ 残業時間

前回に比べ「増加した」とする企業は 0.2 ㊦減少、「減少した」とする企業は 1.9 ㊦減少し、D I は 1.7 ㊦増加し△0.9 となった。

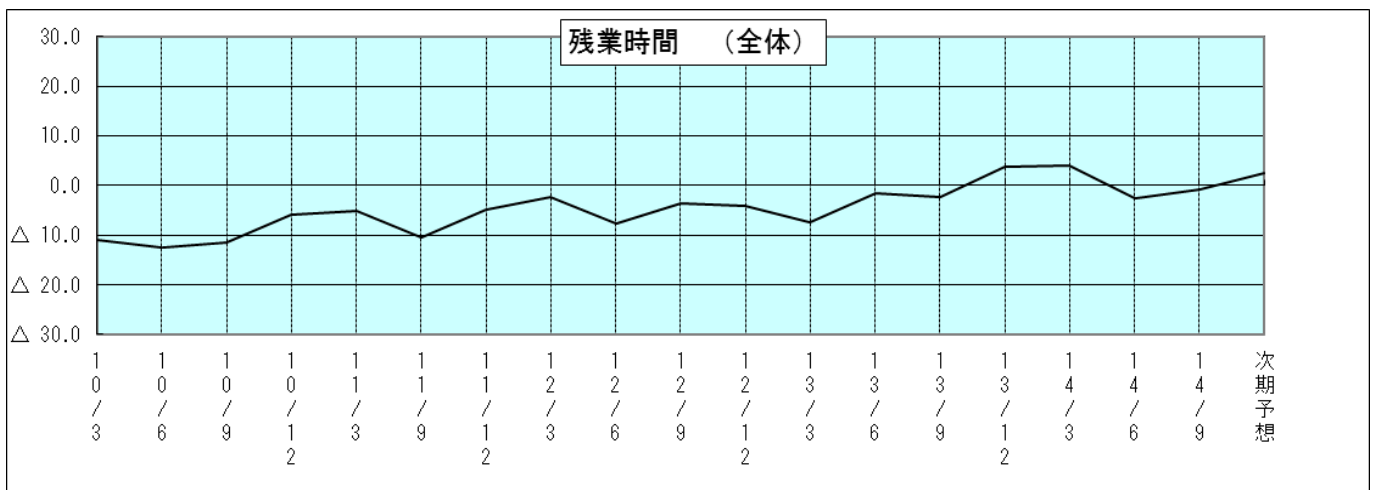
次回予想D I は、全体で 3.3 ㊦増加し 2.4 と残業時間は増加する見通し。

### 残 業 時 間 状 況 の 推 移

変 動		増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
調査時点					
平成25年	7～9月	8.8	80.0	11.2	△ 2.4
平成25年	10～12月	13.5	76.9	9.6	3.9
平成26年	1～3月	13.9	76.3	9.8	4.1
平成26年	4～6月	8.1	81.2	10.7	△ 2.6
平成26年	7～9月	7.9	83.3	8.8	△ 0.9
見通し	10～12月	9.1	84.2	6.7	2.4

### 業 種 別 残 業 時 間 状 況 (平成26年7月～9月)

業 種	変 動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		10.5	70.5	19.0	△ 8.5	0.0	△ 2.0
卸 売 業		2.9	80.0	17.1	△ 14.2	△ 17.1	0.0
小 売 業		4.9	94.1	1.0	3.9	△ 3.8	1.0
サービ	ス業	14.9	74.7	10.4	4.5	△ 8.8	10.6
建 設 業		7.9	88.2	3.9	4.0	8.0	5.3
不 動 産 業		0.0	100.0	0.0	0.0	△ 3.0	0.0
全 体		7.9	83.3	8.8	△ 0.9	△ 2.6	2.4





○ 人 手

前回と比べ、「過剰」であるとした企業は 0.7 ㊦減少、「不足」とする企業が 0.8 ㊦増加、D I は 1.5 ㊦減少し△10.7 となった。

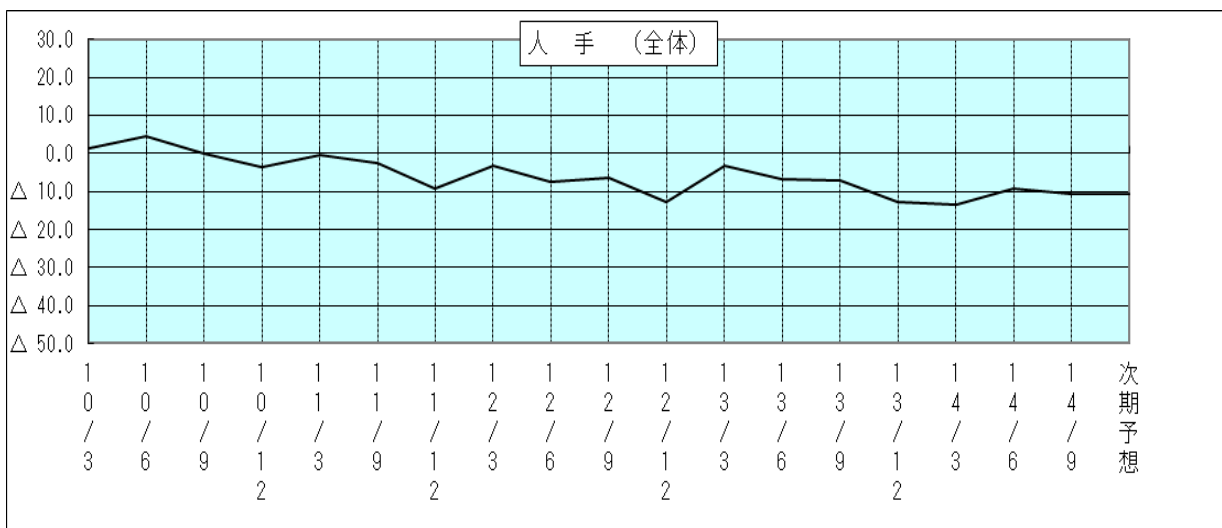
次回予想D I は、全体で 0.1 ㊦減少し△10.8 となる見通し。

人 手 の 状 況 推 移

調査時点	変 動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)
平成25年	7~9月	5.7	81.5	12.8	△ 7.1
平成25年	10~12月	4.3	78.6	17.1	△ 12.8
平成26年	1~3月	5.0	76.7	18.3	△ 13.3
平成26年	4~6月	4.8	81.2	14.0	△ 9.2
平成26年	7~9月	4.1	81.1	14.8	△ 10.7
見通し	10~12月	4.1	81.0	14.9	△ 10.8

業 種 別 人 手 状 況 (平成26年7月~9月)

業 種	変 動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		4.8	80.8	14.4	△ 9.6	△ 13.6	△ 7.7
卸 売 業		5.7	91.4	2.9	2.8	5.7	△ 2.9
小 売 業		4.9	83.4	11.7	△ 6.8	△ 10.6	△ 7.8
サ ー ビ ス 業		4.5	70.1	25.4	△ 20.9	△ 8.8	△ 21.3
建 設 業		2.6	76.6	20.8	△ 18.2	△ 13.0	△ 16.9
不 動 産 業		0.0	97.0	3.0	△ 3.0	0.0	△ 3.1
全 体		4.1	81.1	14.8	△ 10.7	△ 9.2	△ 10.8



## 6. 経営上の問題点・当面の重点経営施策

経営上の問題点及び重点経営施策については、業種により項目の順位が入れ替わった程度で大きな変化は見られない。

### 経営上の問題点 (複数回答 単位:%)

業種	1位	2位	3位	4位
製造業	売上の停滞・減少 54.3	利幅の縮小 23.8	同業者間の競争激化 21.0	原材料高 18.1
卸売業	売上の停滞・減少 54.3	同業者間の競争の激化 40.0	利幅の縮小 17.1	取引先の減少 14.3
小売業	売上の停滞・減少 49.0	同業者間の競争の激化 29.8	利幅の縮小 26.0	大型店との競争の激化 26.0
サービス業	売上の停滞・減少 46.3	同業者間の競争の激化 31.3	人手不足 17.9	材料価格の上昇 14.9
建設業	同業者間の競争の激化 45.5	売上の停滞・減少 35.1	材料価格の上昇 28.6	利幅の縮小 24.7
不動産業	同業者間の競争の激化 57.6	売上の停滞・減少 30.3	利幅の縮小 21.2	商品物件の不足 18.2

### 当面の重点経営施策 (複数回答 単位:%)

業種	1位	2位	3位	4位
製造業	経費を節減する 54.3	販路を広げる 49.5	新製品・技術を開発する 22.9	情報力を強化する 20.0
卸売業	経費を節減する 54.3	販路を広げる 51.4	品揃えを充実する 28.6	情報力を強化する 22.9
小売業	経費を節減する 63.5	品揃えを改善する 28.8	宣伝・広告を強化する 25.0	売れ筋商品を取扱う 13.5
サービス業	経費を節減する 44.8	販路を広げる 41.8	人材を確保する 22.4	宣伝・広告を強化する 17.9
建設業	経費を節減する 54.5	販路を広げる 51.9	情報力を強化する 22.1	技術力を高める 22.1
不動産業	情報力を強化する 51.5	宣伝・広告を強化する 45.5	販路を広げる 39.4	経費を節減する 39.4

## Ⅱ. 平成26年度・第3四半期の景況見通しについて

業況見通しは、全業種改善の見通しで、全体では9.5ポイント増加し△9.5の予想。

生産販売見通しは、全業種改善の見通しで、全体では19.2ポイント増加し6.2の予想。

収益見通しは、全業種改善の見通しで、全体では17.7ポイント増加し0.0の予想である。

### 平成26年度・第3四半期(平成26年10月～12月)の業況見通し

業種	変動	良い A	普通 B	悪い C	D I (A-C)	平成26年7月～9月 D I
製造業		15.2	61.0	23.8	△ 8.6	△ 28.5
卸売業		5.7	62.9	31.4	△ 25.7	△ 28.5
小売業		11.5	52.9	35.6	△ 24.1	△ 27.0
サービス業		19.7	57.6	22.7	△ 3.0	△ 9.0
建設業		25.0	59.2	15.8	9.2	△ 2.6
不動産業		15.2	63.6	21.2	△ 6.0	△ 12.1
全体		16.0	58.5	25.5	△ 9.5	△ 19.0

### 平成26年度・第3四半期(平成26年10月～12月)の生産販売見通し

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	平成26年7月～9月 D I
製造業		28.6	60.9	10.5	18.1	△ 12.4
卸売業		17.1	62.9	20.0	△ 2.9	△ 25.7
小売業		18.3	55.7	26.0	△ 7.7	△ 12.5
サービス業		29.2	57.0	13.8	15.4	△ 18.1
建設業		21.1	64.4	14.5	6.6	△ 6.5
不動産業		18.8	65.6	15.6	3.2	△ 9.1
全体		23.0	60.2	16.8	6.2	△ 13.0

### 平成26年度・第3四半期(平成26年10月～12月)の収益見通し

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	平成26年7月～9月 D I
製造業		21.0	62.8	16.2	4.8	△ 18.1
卸売業		17.1	57.2	25.7	△ 8.6	△ 34.2
小売業		16.3	58.7	25.0	△ 8.7	△ 17.3
サービス業		24.6	61.6	13.8	10.8	△ 24.3
建設業		18.4	63.2	18.4	0.0	△ 9.1
不動産業		12.5	75.0	12.5	0.0	△ 6.1
全体		18.9	62.2	18.9	0.0	△ 17.7

問1. 本年6月に政府が打ち出した新たな『成長戦略』では、いわゆるアベノミクス効果について「日本経済はあらゆる面で上昇局面に向かっている」としています。貴社では、アベノミクス効果をどのように捉えていますか。これまでの実感について1~5より1つお答えください。また、今後の期待感について6~0より1つお答えください。

(これまでの実感)

1. 大いに実感している
2. やや実感している
3. どちらともいえない
4. あまり実感していない
5. まったく実感していない

(今後の期待感)

6. 大いに期待している
7. やや期待している
8. どちらともいえない
9. あまり期待していない
0. まったく期待していない

業種	回答No	1	2	3	4	5	合計	6	7	8	9	0	合計
製造業		0	12	33	46	14	105	3	21	26	37	5	92
卸売業		0	3	9	15	8	35	1	8	4	14	4	31
小売業		0	8	20	37	40	105	1	20	23	35	18	97
サービス業		1	6	20	17	22	66	4	9	15	16	14	58
建設業		1	9	25	26	15	76	2	19	17	23	7	68
不動産業		1	3	15	9	6	34	2	6	11	9	3	31
合	回答者数	3	41	122	150	105	421	13	83	96	134	51	377
計	回答割合	0.7%	9.7%	29.0%	35.6%	24.9%	100.0%	3.4%	22.0%	25.5%	35.5%	13.5%	100.0%

問2. 政府が掲げる『成長戦略』では、「法人税率の軽減」と、「代替財源として課税範囲の拡大・見直し」が提唱されています。貴社では法人税制改正案についてどのように捉えていますか、次の1~7より1つお答えください。

- |             |             |              |          |
|-------------|-------------|--------------|----------|
| 1. 歓迎している   | 3. やや心配している | 5. どちらでもない   | 7. わからない |
| 2. やや歓迎している | 4. 心配している   | 6. 当社には関係がない |          |

業種	回答No	1	2	3	4	5	6	7	合計
製造業		12	19	8	8	39	5	13	104
卸売業		4	4	5	3	10	5	3	34
小売業		5	8	15	7	32	21	14	102
サービス業		6	11	10	1	23	7	8	66
建設業		6	16	7	2	23	8	14	76
不動産業		7	8	5	2	6	1	4	33
合	回答者数	40	66	50	23	133	47	56	415
計	回答割合	9.6%	15.9%	12.0%	5.5%	32.0%	11.3%	13.5%	100.0%

問3. 政府はこれまで『成長戦略』の中で企業の設備投資を促しています。こうしたなか、貴社では、どのような状況になれば積極的な設備投資を開始しますか。次の1～0より1つお答えください。

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 先行き不透明感の払拭       | 6. 機械化投資の必要性増大           |
| 2. 設備投資税制優遇や助成金等の拡充 | 7. 業種転換                  |
| 3. 設備の陳腐化・老朽化       | 8. その他 ( )               |
| 4. 金融機関の貸出態度緩和      | 9. すでに積極化している            |
| 5. 顧客・取引先からの受注増加    | 0. そもそも積極的な設備投資を行うつもりはない |

業種	回答No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	合計
製造業		21	10	15	0	27	6	0	0	3	21	103
卸売業		7	0	1	1	10	0	2	0	1	13	35
小売業		17	7	7	2	13	1	0	1	5	49	102
サービス業		11	6	9	1	11	4	0	1	1	21	65
建設業		16	6	10	0	15	3	0	0	3	23	76
不動産業		9	5	0	1	4	1	0	0	0	13	33
合	回答者数	81	34	42	5	80	15	2	2	13	140	414
計	回答割合	19.6%	8.2%	10.1%	1.2%	19.3%	3.6%	0.5%	0.5%	3.1%	33.8%	100.0%

問4. 一部の地域や業種を中心に人手不足が深刻化していますが、貴社における人材の現況はどうなっていますか。人手不足の方は、人手不足にどう対応しているかについて最も当てはまるものを1～8より1つお答えください。また、人手は適正という方は9と、人手は過剰という方は0とお答えください。

人手不足への対応

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1. 給与・賞与の引上げ  | 5. 機械化の推進          |
| 2. 正社員の採用基準緩和 | 6. 下請け等へのアウトソーシング  |
| 3. 非正規社員の採用拡大 | 7. 仕事量の調整 (受注絞込み等) |
| 4. 女性・高齢者の活躍  | 8. 対応不能 (従業員の努力等)  |

9. 人手は適正

0. 人手は過剰

業種	回答No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	合計
製造業		3	3	3	2	7	5	4	2	69	3	101
卸売業		0	0	0	1	2	0	2	0	28	2	35
小売業		0	0	4	6	0	0	3	2	83	4	102
サービス業		5	4	3	2	1	1	2	3	42	2	65
建設業		3	2	2	2	0	8	0	2	55	3	77
不動産業		0	0	2	0	0	0	0	0	27	1	30
合	回答者数	11	9	14	13	10	14	11	9	304	15	410
計	回答割合	2.7%	2.2%	3.4%	3.2%	2.4%	3.4%	2.7%	2.2%	74.1%	3.7%	100.0%

問5. 政府の『成長戦略』では、訪日外国人の増加や外国人技能実習制度の見直しなど、外国人との関わりを増やすような政策が提唱されています。貴社では、外国人との関わりの増加にどのような期待感を持っていますか。次の1～0より1つお答えください。

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 国内での顧客層の拡大（売上増大） | 6. 会社中枢を担う人材の確保 |
| 2. 海外拠点展開の担い手       | 7. 地元経済の活性化     |
| 3. 職場の活性化・グローバル化    | 8. 文化交流の促進      |
| 4. 新たな技術・ノウハウの獲得    | 9. その他（ ）       |
| 5. 現場の労働力           | 0. 特に期待していない    |

業種 \ 回答No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	合計
製造業	4	1	4	2	16	3	7	1	0	62	100
卸売業	3	1	1	0	1	0	3	0	0	26	35
小売業	4	1	1	1	5	0	6	1	1	81	101
サービス業	8	0	1	0	4	1	2	2	0	47	65
建設業	3	1	2	0	9	0	3	1	0	57	76
不動産業	5	1	1	0	0	0	3	0	0	22	32
合 回答者数	27	5	10	3	35	4	24	5	1	295	409
計 回答割合	6.6%	1.2%	2.4%	0.7%	8.6%	1.0%	5.9%	1.2%	0.2%	72.1%	100.0%

「中小企業における『成長戦略』への期待について」のまとめ  
 (景気動向調査の有効回答先からの複数回答方式で調査したものです。)

1. アベノミクス効果をどのように捉えていますかについては「これまでの実感」では、あまり実感していないとの回答が35.6%で、次いでどちらともいえないとの回答が29.0%、「今後の期待感」では、あまり期待していないとの回答が35.5%、どちらともいえないとの回答が25.5%であった。
2. 法人税制改正案についてどのように捉えていますかについては、どちらでもないが32.0%で、やや歓迎しているが15.9%、わからないが13.5%と回答の上位を占めた。
3. どのような状況になれば積極的な設備投資を開始しますかについては、そもそも積極的な設備投資を行うつもりはないが33.8%、先行き不透明感の払拭が19.6%、顧客・取引先からの受注増加が19.3%で回答の上位を占めた。
4. 人材の現況はどうなっていますかについては、人手は適正が74.1%を占め、人手は過剰が3.7%、非正規社員の採用拡大と下請け等へのアウトソーシングが3.4%の回答であった。
5. 外国人との関わりの増加にどのような期待感を持っていますかについては、特に期待していないが72.1%、現場の労働力が8.6%、国内での顧客層の拡大（売上増大）が6.6%との回答であった。